

外観検査アルゴリズムコンテスト 2018

<http://www.tc-iaip.org/alcon/>

主催 公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会
 共催 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究 レゾナンスバイオ

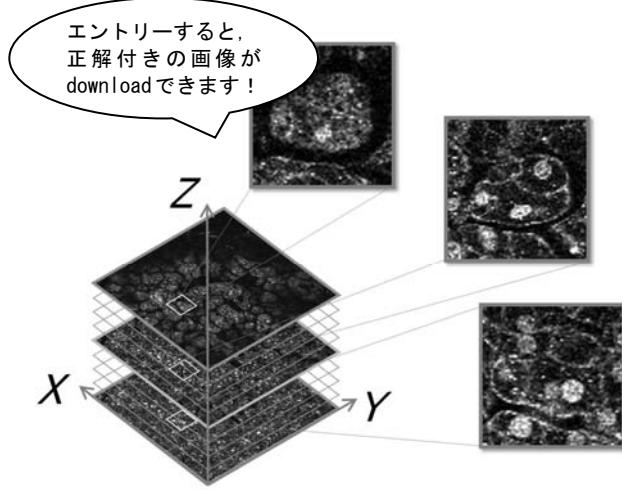
趣旨 画像応用技術専門委員会では、画像を用いた外観検査技術の発展を図るため、研究者・技術者が共通で使える外観検査画像データベースの構築を進めつつ、その一環として外観検査アルゴリズムコンテストを2001年より実施しております。お陰様で実際の製造現場等で生じる画像をそのまま使用した他に例を見ないユニークなコンテストとして広く認知されるようになり、ここ数年は参加者数が約150名となっております。さて第18回の今回は、一昨年度、昨年度に引き続き、細胞内画像処理より「3D画像からの生きた細胞の抽出 ～細胞・核の3D領域抽出～」アルゴリズムのコンテストを実施することになりました。

優秀作品は12月開催のViEW2018（ビジョン技術の実利用ワークショップ）で表彰致します。検査画像と詳しい応募要領は6月末にwebsiteで公開致しますので、ご覧ください。皆様の挑戦をお待ち致しております。

課題 「3D画像からの生きた細胞の抽出～
 細胞・核の3D領域抽出～」

応募要領 詳細発表 2018年6月29日(金)
 エントリー 締め切り 2018年8月3日(金)
 プログラム 締め切り 2018年9月28日(金)

表彰内容 細胞分裂の検出正解率と処理時間をもとに、最優秀賞(1件)、優秀賞(2件)、特別賞(1件)、学生奨励賞(1件)を表彰します。さらに成績が良く、細胞学上、価値が高いと判断されたアルゴリズムに対して、「レゾナンスバイオ大賞」(若干件)「レゾナンスバイオ賞」(若干件)を授与します。



細胞の3次元ライブイメージング

データ提供：今西彩子氏、寺井健太准教授、
 松田道行教授（京大）

実行委員 寺田賢治(委員長：徳島大)、横田秀夫(幹事：理化学研究所)、大橋剛介(幹事：静岡大)、青木公也(中京大)、伊藤誠也(日立製作所)、大西浩之(SCREENホールディングス)、加藤邦人(岐阜大)、竹本智子(理化学研究所)、野村安國(東京ウエルズ)、橋本学(中京大)、林純一郎(香川大)、藤原伸行(明電舎)、堀修(東芝)、松原琢磨(中京大)、三和田靖彦(理化学研究所)、吉澤信(理化学研究所)、脇谷康一(パナソニック)

テクニカルアドバイザー 浅野敏郎(広島工大)、梅田和昇(中央大)、糊澤信(旭硝子)、広瀬修(住友化学)、秦清治(顧問：香川大)、輿水大和(顧問：中京大)

問い合わせ先 画像応用技術専門委員会「外観検査アルゴリズムコンテスト」事務局
 〒169-0073 新宿区百人町2-21-27 アドコム・メディア(株)内
 TEL: 03-3367-0571 e-mail: iaip@adcom-media.co.jp

2017年外観検査アルゴリズムコンテスト：

最優秀賞 菅野純一殿(ヴィスコ・テクノロジーズ) 優秀賞 優秀賞 榎本孝之殿、宇津木裕貴殿、長安純子殿、藤田大殿(ファースト) / 佐々木友哉殿、山瀬裕也殿、山田晃裕殿(徳島大) 学生奨励賞 安部昌俊殿、川岸成輝殿(徳島大) レゾナンスバイオ大賞 榎本孝之殿、宇津木裕貴殿、長安純子殿、藤田大殿(ファースト) / 佐々木友哉殿、山瀬裕也殿、山田晃裕殿(徳島大) レゾナンスバイオ賞 菅野純一殿(ヴィスコ・テクノロジーズ)